

この資料はアンケートにお答え頂く際の、参考としてお読みいただければ幸いです。今後の学校運営に活かすために学校評価アンケートへのご協力をぜひともよろしくお願いいたします。

※ 資料の中に令和7年度全国学力学習状況調査の結果（関連項目の抜粋）を掲載しました。調査対象は6年生ですが学校生活の積み重ねの成果として参考にしてください。

学校教育全体に関わって

【項目1】学校は、めざす学校像・学校教育目標などをわかりやすく伝えることに努めている。

めざす学校像・学校教育目標は、年度初めに「学校だより」「学校運営協議会だより」「学校ホームページ」で、お伝えしています。本年度の学校教育目標は最後のページに掲載してあります。ご覧ください。

【項目2】学校は、地域・保護者・関係機関と連携して、引き渡し訓練や交通安全教室、防災教室の実施など、危機管理の向上に努めている。

4/24(木)に地震を想定した避難訓練を実施し、「どのように自分の命を守るか」を考える機会をもちました。また、6/25(水)には引き渡し訓練を実施し、多くの保護者の方に参加していただきました。また津地方気象台の職員をお招きして6/2(月)に5年生対象の「防災教室」を実施しました。また、本校3年生と亀山高校の生徒とで、通学路の安全などについて交流しています。

【項目3】学校は、地域と協働し、地域の【人・もの・こと】を活用した学習を行い、子どもたちの地域への関心を高めることに努めている。

各学年では、地域の【人・もの・こと】を活用した下記の学習を実施し、子どもたちの地域への理解を深め、地域への愛着を育んでいます。下記の表は一部の活動を抜粋してまとめたものです。

学年	地域関連学習	学年	地域関連学習
1年	3園交流（年長児を招いた秋まつり） 東野公園への校外学習 春のつどい 昔遊び（地域の方を講師に）	4年	亀山高校との交流授業（プログラミング・福祉） 冬の星座プラネタリウム体験 福祉教育（敬老会参加、認知症キッズ、花しょうぶ苑交流）
2年	町探検（東町商店街・本町・北町など） 東野公園への校外学習 カメラマローソクタウン工場見学	5年	田植え・稲刈り体験・農業機械見学（阿野田地区豊若会） 3園交流（東幼・愛児園・第2愛護園） 防災学習（津地方気象台・消防署）
3年	亀山高校との交流（防災安全に関連して） 出前授業（歴史博物館・防災安全課・市川大楽園など） 社会科町調べ（校区巡り）亀山市役所・亀山高校屋上など	6年	キャリア・起業体験教育（亀山みそやきうどん・百五銀行など） 租税教室（鈴鹿税務署） 出前授業（民生委員） 亀山市への参加

※ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う（本校84.5% 全国の81.3%）



2年生 町探検



3年生 亀山警察署見学



5年生 田植え体験（豊若会）



6年生 出前授業（民生委員）

【項目4】学校は、ホームページや学校・学年だよりなどを通じて、児童の活動の様子を伝えることに努めている。

【項目5】学校は保護者や地域の問い合わせや相談に対していねいに対応し、信頼関係づくりに努めている。

学校ホームページや学校だより等で、授業の様子や地域との交流など学校生活の様子を発信しています。今年度よりホームページへ「学校だより」「学年だより」等を掲載してたくさんの方にご覧いただく形としました。登下校の見守りをしていただくボランティアの方や地域の方々にもお渡しして、学校の情報を共有しています。

学力の充実とよりよい授業づくりに関わって

【項目6】学校は、指導方法を工夫してわかりやすい授業づくりに努めている。

授業において興味関心をもって授業に取り組み、内容の理解が進むように、タブレット等のICT機器を活用し、写真や映像を用いたり、アニメーションで立体を展開させたりするなど視覚支援しわかりやすい授業を行っています。また、本年度も教員同士で授業の公開を行い、技術を磨き合って、指導力の向上に努力を重ねています。

※ 国語の内容はよくわかる(本校76.7% 全国82.8%) 算数の内容はよくわかる(本校81.8% 全国78.3%)

【項目7】学校は、授業での約束を決め、児童に授業規律が身につくように努めている。

話の聴き方、発表の仕方、姿勢、声の大きさなど、学年に応じた“学習の約束”を定めています。授業に臨む心構えや態度は、年々積み上げていかねばなりません。“学習の約束”の他、教室の掲示物、学習のための道具や資料などの準備物や持ち物についても、教職員で定期的に検討を重ね、指導と改善を図っています。また、学年に応じた“学習の約束”では強化期間にチェックリストで振り返りを行い、保護者の皆様にも協力を頂きながらルールの定着に努めています。

※ 問題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ(本校90.9% 全国80.3%)

【項目8】学校は、補充学習・家庭学習などを通じて基礎基本の定着に努めている。

学習内容の定着のためには、繰り返しの練習が必要です。朝の学習の時間や“いえ学”を設定し、学習内容の補充と定着に取り組んでいます。また、サマースキルアップを3日実施、スキルアップタイムを年間13日実施して、基礎基本の定着を図っています。また、学校では「いえ学のすすめ」を4月に配付し家庭学習の推進に努めています。

※ 平日の勉強時間1時間以上(本校57.2% 全国54.0%)

【項目9】学校は一人1台端末を効果的に活用した授業づくりや児童のICT活用能力の育成に努めている。

どの学年の子どもも調べる、意見交換、発表場面など学習活動でタブレットの活用が進んでいます。タブレット端末の定期的な持ち帰りでは、eライブラリやQubena(キュービナ)等も活用して、一人ひとりの進捗に応じた学習を進めています。

eライブラリ・Qubena(キュービナ)とは、児童の「主体的な学び」をサポートする学習支援サービスで、タブレット端末を活用して習熟度に応じた問題を解くことができます。

※ ICT機器の活用で、友だちと考えを共有したり比べたりがしやすい(本校88.3% 全国84.6%)

【項目10】学校は、ゲストティーチャーや体験活動を通して児童の主体性や社会性の育成に努めている。

ゲストティーチャーとの学習や体験活動を通して、本物に出会う、触れることは、学んだ学習内容をより深めたり、新たな学習に向けた意欲を生み出したりするものであると考えています。そのため、学校では、【項目3】でも紹介した「地域の【人・もの・こと】を活用した」体験を伴う課題解決型の学習等を大切にしています。また、芸術家、文化人、地元の商店主など多彩なゲストティーチャーと交流することは将来の夢や職業観にもつながるキャリア教育としての意味合いもあります。



6年生 キャリア教育 みそやきうどん

※ 将来の夢や目標を持っている(本校76.6% 全国83.1%)

※ 人の役に立つ人間になりたいと思う(本校94.8% 全国96.4%)

豊かな人間性の育成・安心安全な学校について

【項目11】学校は、家庭と連携を図りながら、一人ひとりにあったきめ細かい指導と支援に努めている。

【項目12】学校は、児童のよさやがんばりを認め、一人ひとりを大切にするように努めている。

特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置し、児童に必要な支援やご家庭から相談に対応しています。子ども支援委員会を定期的開催し、児童の情報共有を行い、児童理解を深めるとともに、関係機関とも連携して取り組んでいます。また、子どもたちの自己肯定感は、学習や生活の原動力であると考えています。子どもたちがいろいろなことに挑戦してみようとする意欲や取り組んでいる過程を大切に、子どもたちが「わかった」「できた」と実感できるよう声掛けや指導・支援を心がけています。

※ 先生はよいところを認めてくれる（本校 96.1% 全国 92.2%）

※ 自分にはよいところがある（本校 90.9% 全国 86.9%）

【項目13】学校は、望ましい人間関係や好ましい集団づくりを通じて、いじめを生まない学校・子どもたちの居場所のある学校づくりに努めている。

“居心地のよい、あたたかな学級・学校”をめざしています。日々の学級指導や生活指導、各学年の発達に応じて人権学習（人権宣言や人権集会の取組）や、いじめなどの身近にある差別について話し合い活動や学年集会を開催しています。また、ピンクシャツデー（いじめ防止強化月間）・人権週間は、各学年の実態に応じた取り組みを重点的に行います。

※ 人が困っていたら進んで助けようとする（本校 98.7% 全国 93.7%）

※ いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う（本校 97.4% 全国 97.2%）

【項目14】学校は、児童の自治的な活動や人権教育、福祉体験活動等を通じて、自分と仲間を大切にする心の育成に努めている。

年間を通して、児童会を中心に、児童自らが“より良い学校生活”を送るための自治的活動に取り組んでいます。子どもたちにとって学校生活がより楽しく、より充実したものになるよう学校内のルールを見直しや周知活動にも取り組みました。仕事を分担し、自治的に課題に取り組む委員会活動（5・6年生）も行いました。全校児童が、学校生活の充実と向上を図り、自分たちの努力が目に見える形で表され意欲が高まるよう、各委員会で工夫を重ね取り組んでいます。

【項目15】学校は、児童への保健指導や食の指導を通じて、健康教育・食育等の充実と児童の生活習慣の向上に努めている。

保健指導や食に関する指導による生活習慣の向上は、学習指導及び心の教育と並ぶ大切な指導と考えています。保健や食育の授業は、養護教諭、食育担当を中心に、学級担任や地域のゲストティーチャー等と連携して、年間カリキュラムを作成し、発達段階に応じた指導を行っています。また、近年問題になっているメディア中心の生活を見直すために「アウトメディアにチャレンジ」にも取り組みました。

※ 健康に過ごすために、授業や保健室の先生などから教えられたことを普段の生活に役立てている（本校 92.3% 全国 82.5%）

【項目16】お子さんは、楽しく学校生活を送っている。

【項目17】お子さんは、場に応じた挨拶をしている。

【項目18】お子さんは、相手の気持ちを考えた態度や言葉づかいをしている。

【項目19】お子さんは、様々な行事や体験活動に意欲的に取り組んでいる。

【項目20】お子さんは、宿題など家庭学習をする習慣が身についている。

これらの項目は、お子さんの現在の状況により回答してください。

令和7年度学校経営方針

1. めざす学校像（学校教育目標）

「地域の中で生き生きと学び

豊かな心をもってよりよく生きる子どもの育成」

- 子どもたちが生き生きと楽しく学ぶ学校
- 一人ひとりの子どもに居場所がある学校
- 保護者・地域と教職員が手を取り合って進む学校

2. 重点目標

（1）主体的・協働的な学びを育む授業改善に努め、学力の定着を図ります。

- 児童一人ひとりの自己実現を支える“楽しく、わかる”授業づくり
 - ・基礎基本の定着 ・「聴く、話す力」「読む・読み取る力」「書く力」の向上
 - ・課題解決力と情報活用力の向上 ・対話やふり返りの効果的な活用
 - ・学力調査等の活用 ・一人1台端末の効果的な活用 ・体力の向上
 - ・日常的な読書習慣の確立と語彙の獲得

○授業規律の定着

○補充学習や家庭学習の充実

○本物の芸術や文化に触れる機会の創出と情操を育む活動

（2）仲間とともにつながり合い、高まり合う学級づくりを進めます。

- 子どもの居場所がある学級づくり、子どもと子どもをつなぐ仲間づくり
 - ・「いじめに向かわない」子どもの育成と計画的な取組
 - ・「いじめを見逃さない」学校全体での組織的な取組
 - ・調査やアンケートの活用 ・不登校対応と校内教育支援センターの活用

○きめ細かな児童理解と支援の充実

・児童に関する統合的な校内委員会 ・個別の支援計画や指導計画整備

○自らの生き方に向き合う学習や自治活動で“自信”をもてる児童の育成

・人権教育の充実

（3）保護者・地域とともにある学校づくりを進めます。

- 学校運営協議会を通じ、“保護者・地域とともにある”学校運営
- 地域の“ひと・もの・こと”を活用した学びの充実（地域フィールド学習）
- 地域の未来を支える地域貢献（地域体験学習）
- 保護者・地域と協働した危機管理・健康・安全教育の充実
- 学校情報の積極的な発信

（4）教職員が健康で働きやすい環境と、ワークライフバランスを大切にします。

- 明るく、健康的な職場風土
- 教職員が互いに学びあえる研修の推進
- 法令遵守意識の向上、ハラスメントの防止

○校務の効率化と1か月あたりの時間外労働時間 25 時間以下の実現、計画的な定時退校日の実施、会議の精選と時間短縮